

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～

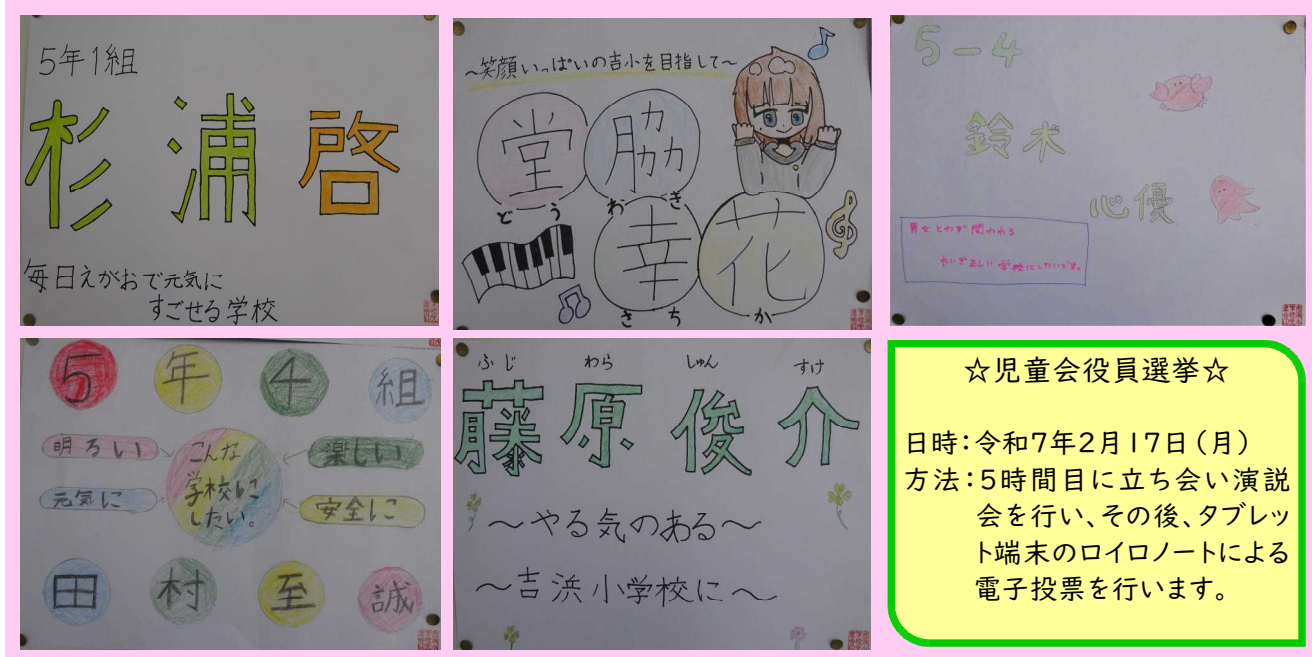


高浜市立吉浜小学校
令和7年1月31日 No.86

令和7年度児童会役員選挙



来年度の児童会役員を決める選挙を2月17日(月)に行います。児童会役員は4年生から4名、5年生5名選出することになっています。この選挙に20名の子が立候補しました。



立候補することは大変勇気がいることですが、これだけの子が立候補したことを嬉しく思います。選挙ですから当落はありますが、どちらの結果になっても立候補という一歩を踏み出したことは大きな成長だと思います。

よくがんばりました

□多文化共生アイコン缶バッジイラストコンテスト

特別賞 3年 ヤマザキ オットさん
6年 杉浦 逞十さん

□非行防止、地域・家庭のふれあい、高越安全に関する標語

優秀賞 2年 岩松 稜真さん
佳作 4年グエン チュオン ヴィさん

□高浜シティマラソン

1月26日(日)、高浜中学校を会場にして「第26回高浜シティマラソン」が行われました。天候に恵まれ、参加者は家族らの声援を受けて入っていました。本校からもたくさん子どもたちが参加しました。

☆3km小学女子4年生以下

第2位 4年 小池 藍莉さん

☆1.5km小学1・2年生

第2位 2年 椎木 優介さん

第3位 2年 谷本 侑飛さん



本をいただきました

先日、ある保護者の方から本をいただきました。添えられていた手紙には、毎月、掲示委員会の子どもたちが責任をもって何日もかけて一生懸命描いている「今月の黒板イラスト」を楽しみにしていること、掲示委員会の子どもたちの参考になればと思い本を贈らせてほしいことが書かれていました。本当にありがとうございました。

このことは掲示委員会の子どもたちにも伝え、本を見ることができるようになっています。書き方の技が学べることはもちろんですが、この取組を楽しみにしてくださっている保護者の方がみえることは、掲示委員会の子どもたちにとっても大きな喜びであり、励みになると思います。いただきました本を参考に、今後もすてきな黒板イラストが描かれていくことでしょう。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年2月5日 No.87

中学校の先生のお話を聞きました



6年生の多くの子が進学する高浜中学校から生徒指導担当の竹内隆二先生に来ていただき、中学校での生活などについてお話をしていただきました。高浜中学校には市内4小学校から子どもたちが進学してきます。この点だけでも不安

を感じる子もいるでしょうし、反対に新しい出会いが楽しみという子もいるのではないかと思います。4月の進学を前向きに捉え、心・気持ちとものの準備を進めていただけたらと思います。また、保護者の皆さんの中学校の頃の思い出など、子どもたちにもぜひ聞かせてあげてください。

よくがんばりました

□竹内隆二先生より

応援される人になってください。応援される人はどんな人か。やることをきちんとがんばっている、うそをつかない、そんな人だと思います。残りの小学校生活を全力で過ごしてください。中学生になればもう小学生には戻れません。学級目標や学年目標を達成して終わりましょう。卒業式も全力で歌、返事、やりきって高中に来てください。待っています。

第54回市民スポーツ大会

□バドミントン

小学生4年生以下

第3位 3年 中川 博登さん

□剣道

小学生初心者

第3位 3年 鈴木 緋那さん

小学生低学年

第2位 2年 香川 宗介さん

小学生高学年

第3位 6年 徳田奈乃羽さん

□卓球

小学生女子

優勝 5年 杉村 来夏さん



1年 鈴木 一華さん



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年2月7日 No.88

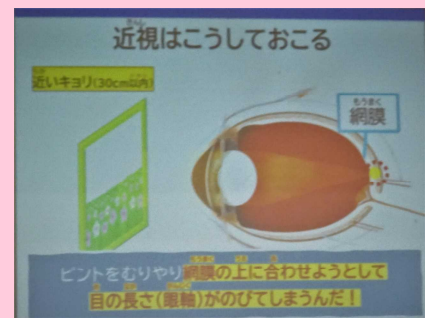
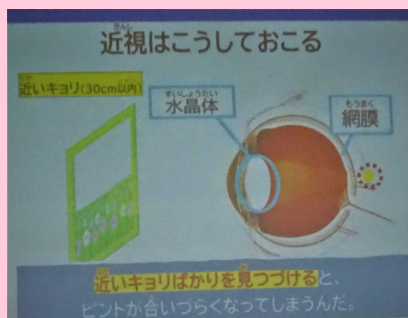
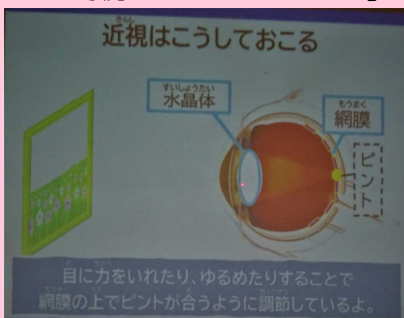
目に関する学習2

11月に株式会社ニデックの神谷理恵子様に来ていただき、目の健康についてお話をしていただきました。対象は4年生でしたが、その後、他学年の先生や保護者のみなさんから「お話を聞いてみたい」というリクエストがありました。そこで、再び神谷様に来ていただき、5、6年生の子どもたちと希望された保護者のみなさんで話を聞きました。今回は5、6年生が対象ということもあり、少し詳しくお話をしてくださいました。

一度、近視になってしまった目はもとに戻らないことを心に留め、目に優しい生活をしていきたいですね。ご家庭でも話題にしてみてください。



□「近視はこうしておこる」



目に力を入れたり、ゆるめたりすることで網膜の上でピントが合うように調節しています。しかし、近い距離ばかり見てしまうと、ピントが合いづらくなってきます。網膜の手前でピントが合ってしまう（遠くがぼやけてしまう）のです。そのため無理に網膜の上でピントを合わせようとして、目の長さがのびてしまいます。近視は目の奥行き（長さ）が伸びすぎて、網膜にピントが合わなくなる状態で、こののびてしまった目は元には戻らないのです。

- ①姿勢を正し、画面から目を30cm以上離そう。
- ②30分に1回は20秒以上遠くを見て目を休ませよう。
- ③目が乾かないように、パチパチと瞬きをしよう。
- ④休み時間は目を休めて、明るい外で身体を動かそう。
- ⑤小学生のみんなに必要な睡眠時間は8、9～11時間くらい。
- ⑥寝る1時間前からはデジタル機器を見るのはやめよう。

【参加した教員の声】
「30cmは思っていたよりも遠い」という声が多かったです。これからはもっと遠ざけてみようという意識が高まってきたようです。近視は治らないというのは驚いたという子がいっぱいありました。でもスマホを長い時間見てしまうのはなかなかやめられず、どうしようかと、気持ち揺らんでいるよと、関心の高い内容で、よく話が聞けていたと思えます。あ

【参加された保護者の方より】
近視になると治らない事、目がのびるともにもどらなればかりか病気を招く原因にもなる事など、勉強になりました。睡眠時間は中高生でも8～10時間必要だという事で、娘が眠そうにしているのは睡眠不足が原因だとわかってよかったです。すぐには改善できないかもしれませんが、週に何回かは早く寝る日と決めて少しでも良く寝る方がいいなと思いました。とてもいいねいな説明でわかりやすかったです。ありがとうございました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年2月12日 No.89

学習発表週間

今週は学習発表週間です。これまで学んできたことを下の学年や保護者のみなさんに伝えることを目的にこの週間を設けています。多い学年は、伝える立場と、伝えられる立場の二つを経験することになります。



大きい写真は4年生が、3年生に総合的な学習の時間に学んだことを伝えています。電子黒板を活用したり、クイズを取り入れたりしてわかりやすく伝えていました。学んだことを生かす場面があることは子どもにとって学ぶ励みになり、追究を深めることにもつながっていくと思います。伝えられた方も今後の学習への興味・関心が高まり、見通しももてます。子どもたちにとって貴重な機会になっています。どんな内容を伝え、そして、どんな内容を伝えているのかなど、ご家庭でも話題にしてみてください。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年2月14日 No.90

第2回学校関係者評価委員会

第2回目の学校関係者評価委員会を開催しました。高浜市内の小・中学校は学校ごとに「学校関係者評価委員会」を組織し、学校・家庭・地域が三者一体となって協働して学校づくりが展開されるよう委員のみなさんから指導助言をいただきながら学校運営の改善を図っています。第1回目は6月に行い、「学校経営の方針」「実現に向けた方策」等に基づき、令和6年度の推進計画について説明をさせていただきました。

学校経営ビジョン

子どもが自立した大人になるための基盤を育み、自信と希望をもって生きていくことができるようにするための学びを追究する



ともに学びを深める授業



自ら創り出したフラッグ演技

経営方針

- ①教員の授業力向上を図る
(子どもが聴き合い、考え、語り合い、ともに学びを深める授業を目指す)
- ②学年・学級経営の充実
(理想とする学年・学級の姿を子どもと共有し、PDCAサイクルを活用しながらありたい学年・学級の実現を目指す)
- ③子どもの主体性を育む
(子ども自身が自分を育てられるよう学校・学年・学級行事や児童会活動等への支援及びその活動を認め励ます教員の働きかけを充実させる)
- ④地域愛を育む教育活動の展開
(地域の方々と協働し、感謝する心と地域愛が育つ活動を行う)
- ⑤教職員の働き方改革に係る業務改善
(教職員が心身ともに健康で、毎日、笑顔で子どもたちの前に立つこと及び教育の質の改善を図るために業務改善を進める)



主体性を育む交流活動



地域愛を育む菊人形制作

第2回目は、推進計画に基づき進めてきた今年度の取組状況及び自己評価について報告し、その後、校内を回り、授業の様子を見ていただきました。最後に、それぞれの取組についてご意見と評価をいただきました。体調を崩しやすい時期であり、委員のみなさんで欠席の方もおられましたが、以下に委員のみなさんからいただいたご意見を紹介します。

<教職員の授業力向上を図る：学校自己評価A>→委員評価：A

- ◇「教育は力なり」この言葉に終わりはないと思います。高学年が下の学年に伝える機会は本当によい。今後とも力添え(子どもに対し)をよろしくお願いします。 <横井光義 様:吉浜まちづくり協議会>
- ◇どのクラスも大変落ち着いて授業に取り組んでいて感心しました。 <黒野盛聖 様:元吉浜小学校長>
- ◇授業を見て回って、先生が子どもたちに積極的に意見を求める姿がありました。これは、授業力が高い証かなと思います。 <山根宏昭 様:R5PTA会長>
- ◇発問チャートは非常によいと感じました。子どもの思考に基づいて授業が展開できるものだと感じます。課題解決までのプロセスを見通して授業を組んでいることが伝わりました。吉小の公開授業の一つの形となると思います。 <木村暢宏 様:高浜中学校 校務主任>

<学年・学級経営を充実させる：学校自己評価B>→委員評価：B

- ◇限られた資源の中、教員の皆様のがんばりがうかがえました。 <横井光義 様>
- ◇下の学年の子に対する思いやりやさしさを感じた。話の聴き方もよかった。先生方のご指導の賜物です。 <黒野盛聖 様>
- ◇レーダーチャートの分析があまり活用できていないとのことでしたが、低学年の方には、まだ分析方法が理解できていないのかと思いました。 <山根宏昭 様>
- ◇レーダーチャートやテキストマイニングを経営にどのように活かしたのかが見えるとよいと思います。4年1組はレーダーチャートとそこから分かることが掲示されていました。貼ればよいというわけではないですが、やったことを活かしていることが可視化されていると、子どもにもよい影響があるのではないですか。 <木村暢宏 様>

<子どもの主体性を育む：学校自己評価A>→委員評価：A

◇学年を超えたクラス内での接触に興味を持ちました。先生が生徒を教えるだけが教育ではないと新鮮味をもちました。もうすぐ卒業する6年生が一生懸命伝え、それをしっかり受け取ろうとする5年生、それぞれの思いが分かりました。

<横井光義 様>

◇6年生が5年生に自分たちの「技」を受け継いでもらおうとする姿に主体性を感じました。学校の代表として伝統を引き継いでいる。

<黒野盛聖 様>

◇異学年交流という取り組みにおいて、子供たちが自ら得た知識を下の学年へ共有・展開するということはすばらしいと思いました。

<山根宏昭 様>

◇異学年交流を容易に仕組むことができるのが小学校のよさだと思います。高学年になればなるほど高まる自主的な姿を異学年交流で伝承している様子が、フラッグ、環境学習の参観から見られました。自ら主体となって「伝えたい」「教えたい」という姿が見られました。

<木村暢宏 様>



<地域愛を育む教育活動を展開する：学校自己評価A>→委員評価：A

◇地域に身を置く立場から一言。お互いが何を求めているか今後とも十分な議論をしたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

<横井光義 様>

◇以前から続いているまち協さんとのつながり、地域の方に教えていただく野菜作り、菊人形など、地域愛が育まれていると思います。

<黒野盛聖 様>

◇地域の方との交流(野菜作り)を通して、学校の外での体験が子どもたちの成長につながると考えていますので、これからも拡大してほしいと思います。子どもが楽しいと思える取組をお願いします。

<山根宏昭 様>

◇情報の発信量はすごいと思います。第1回でもありましたが、地域にたよりが届くことで、それを見て、吉小がどうしているのかが伝わり、地域と一体となって教育活動が展開されていくと思います。たよりの電子化はお考えですか？(現在も「すぐー」を活用していますが来年度はさらに進めてきたいと考えている)

<木村暢宏 様>



<教職員の働き方改革に係る業務改善：学校自己評価B>→委員評価：B

◇ご苦勞が多いと思います。一般企業は残業があっても手当がある。先生方はそうではないので。教職員の皆さん、お体に気をつけてがんばってください。

<横井光義 様>

◇学校だけではどうすることもできないこともあると思うが、改革に対する努力がうかがえますが、さらに努力を続けていただきたい。

<黒野盛聖 様>

◇設定したすいすい水曜日に対して下校最終者の平均時刻が19:30とのことで、まだまだ残業が必要な状況なんだと感じました。負荷の分散など教職員の中でも対策は可能であればお願いします。

<山根宏昭 様>

◇すいすい水曜日、持ち帰りなしでやれているのかな？秋の在校時間が長いのは、行事かと思いますが、その中で求められている「前のような行事」はできるのか。心配になります。

<木村暢宏 様>

◇保護者の方への対応など、聞いたところによるとそこまでしているのですねと思うことがありました。見えないところで丁寧に仕事をされていることが分かります。また、行事等では理想と現実と差が出てしまうこともあるように思います。現実的な計画で進め、学校の方針をしめせばよいと思います。

<R4PTA会長 坂本直敏 様>

*坂本 様には会の司会・進行をお願いしました

みなさんからいただいたご意見を、子どもたちのために学校運営・教育活動に生かしてまいります。